



RI第2530地区 県北第1分区 2016-2017年度

# 福島南ロータリークラブ会報



RI会長 ジョンF.ジャーム テーマ「人類に奉仕するロータリー」

RI第2530地区ガバナー 佐久間 英一

福島南ロータリークラブ 会長 佐久間 功 幹事 横山 りつ子  
目標「明るく、元気に広がる奉仕の輪」

平成28年

## 7月27日(水)

例会会場：福島サンパレス

### 第4回 例会

会員/75名 出席/50名 出席率/66.67%

メイクアップ/25名 修正/74名 修正率/100.0%

2016-2017年度 福島南ロータリークラブ会長

## 会長挨拶 会長 佐久間 功

会員の皆様今日は、先日7月24日、福島民報ゴルフコースで、今年度第1回の福島南ロータリークラブゴルフコンペが行われました。当日はあまり暑くもなく程よい天候の中、当クラブ精鋭のゴルファー11名がナイスショットを繰り広げ、高橋勇雄会員の優勝・国分秀夫会員の準優勝で無事競技を終えました。競技後半になりますと体力の限界を感じる方も出てきましたが、和気あいあいとした楽しい雰囲気の中ででした。参加された皆さんお疲れ様でした。

ところで、会員の皆様にとって、ロータリーでの時間を最も多くの時間を過ごすのは例会ではないでしょうか。お互いの近況や身近な問題を話し合ったり、クラブの活動やプロジェクトを計画したり、ロータリーの最新情報を学ぶ機会でもあると同時に、自己研鑽の場でもあります。少しでも皆様が、出席して良かったと思えるような充実した例会の取り組みをしていかなければと考えています。

本日は、先週に引き続き、各委員会の活動計画発表です。五大奉仕を含む奉仕プロジェクト管理委員会の委員長の皆様よろしくお祈りします。

今回をもって全ての委員会の発表が終わりますが、年次計画書は、お盆休みが入りますので、8月下旬ころには皆様へ配布できるように編集作業を進めています。今暫くお待ちください。終わりに、8月のロータリーレートは1ドル102円との連絡が入りました。財団への高額寄付は今がチャンスかも知れません。よろしくお祈りします。



## 8月3日(水)のプログラム

- 18:00 ①開会点鐘
- ②ロータリーソング「奉仕の理想」
- ③4つのテスト
- ④来訪者紹介と会長挨拶
- ⑤ターゲットの贈呈
- ⑥スマイリングBOXの報告
- ⑦お誕生日のお祝い
- ⑧参加ファミリーの紹介
- ⑨各委員会報告
- ⑩閉会点鐘
- 18:22 ⑪幹事報告
- 18:30 家族納涼パーティー

## 今後のプログラム

- 8月10日(水) 休会(お盆休み)
- 8月17日(水) ロータリーの友読みどころ 新会員スピーチ 県北第一・第二分区 My ROTARY 操作勉強会報告(IT推進委員)
- 8月24日(水) ゲストスピーチ 大橋廣治バスターガバナー 米山奨学金授与
- 8月31日(水) 新会員スピーチ インターアクト年次大会報告(成蹊高校IAC)

## 地区情報・第一分区・関連情報

- 8月6日(土) 県北第一分区・第二分区 My ROTARY 操作勉強会 IT 推進委員(ウィル福島)
- 8月19日(金) 第3回第一分区会長幹事会(納涼会議)
- 8月27日(土) 米山記念奨学会セミナー
- 8月31日(水) 第3回IAC例会(年次大会報告)

## クラブ協議会 活動計画発表(2)



奉仕プロジェクト管理委員会 松崎 弘昭 委員長

クラブが実施する奉仕活動は、一方的に与える奉仕ではなく、その活動を通して何らかの学びを与えられているという「奉仕の対等性」を基本的な理念として、充実した奉仕活動が出来るように各委員会の緊密な連携を図ってまいります。



戦略計画委員会 紺野 仁昭 委員長

地区運営(戦略&IT)委員会の目標を受け、戦略計画委員会として3つの優先項目を掲げ、3年、5年と長期を見据えて活動を行いたいと考えております。

- ・クラブのサポート強化
- ・人道的奉仕の重点化と増加
- ・公共イメージと認知度の向上

具体的には

1. 魅力あるクラブづくりに努める。
2. 社会の変化するニーズに対応できるよう努める。
3. IT推進委員1名を選任する。
4. MY ROTARY登録の推進。
5. 戦略計画について、クラブではどうするべきか、どうあるべきかの目標を具体的に決め、考え進めて行く。

戦略計画はクラブ全体で考えていかなければなりません。会員皆様のご協力をよろしくお祈り致します。



青少年奉仕委員会 伊藤 紘一 委員長(代読 安齋 常克 委員)

今年度、佐久間会長方針「明るく、元気に広がる奉仕の輪」の2、人道的奉仕の重点化と増加の中に、青少年や若きリーダーの支援とあり、IAC提唱クラブとして全会員の意識の向上と青少年奉仕活動について理解を深めてもらうため積極的に、IAC例会、また、奉仕活動への参加の呼びかけをしてまいります。その為の活動計画としまして

1. 福島成蹊高校IACへの取り組み
2. 年次大会、リーダー研修会、国際理解研修等のIAC地区年間行事への参加。報告。
3. 社会奉仕委員会、国際奉仕委員会との共同奉仕活動への参加

その他、青少年奉仕月間(5月)米山奨学生とIACの交流ライラへの参加



米山記念奨学会委員会 一條 浩孝 委員長(代読 佐藤 誠 副委員長)

米山奨学会では日本で学ぶ外国人留学生在に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。この事業の使命は、将来日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良理解者となる人材を育成することにあります。これはロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。当クラブでも、2016年4月から再び世話クラブとなり奨学生を受け入れることになりました。奨学生には例会はもとよりクラブ行事にも積極的に参加していただくことになっております。是非この機会に交流を深めていただきますようお願い致します。寄付金の年間目標金額は150万円と致しました。会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお祈り申し上げます。



ロータリー財団委員会 財団協議会・研修会報告 吾妻 学 委員長

平成28年7月23日土曜日、郡山市労働福祉会館にて2530地区の財団セミナーに委員長の吾妻と鈴木洋子委員とで参加してきました。内容として財団の歴史、財団の仕組み等説明があり、来年には財団100周年に向け地区としてもさらに寄付の拡大のお願いがありました。また3年前の寄付が地区に戻る地区補助金を活用して積極的に社会奉仕に活用していただきなど話がありました。



職業奉仕委員会 三浦 善治 委員長

「明るく、元気に広がる奉仕の輪」が本年度の会長の方針です。会員一人一人の明るい笑顔が会員同志の絆を強め、職業奉仕の輪が広がっていくというものです。職業人としての倫理の向上に努めましょう。

〈活動計画〉

1. 例会にて四つのテストの唱和
2. 例会にてロータリアンの行動規範の朗読(月1回)
3. ゲストスピーカーによる卓話
4. 職場訪問(移動例会)
  - 11月9日 風の谷
  - 5月17日 永京寺



国際奉仕委員会 吉田 和義 委員長

今年度は国際奉仕活動を通してロータリー活動を実践していきたいと考えております。活動計画は次の5項目です。

- ① ラオス教育支援の継続～3年間の継続活動最終年度 \*サワラン県教員養成短期大学生2名の奨学金として年間300,000円をA E F A窓口に支援している(A E F A→現地NGO→奨学生) \*ラオス教育支援報告会を開催し、会員への周知徹底をはかる
- ② A E F A(認定NPO法人アジア教育友好協会)による出前授業を支援
- ③ 海外のロータリークラブとの交流をはかる
- ④ 海外の災害への迅速な支援
- ⑤ ポリオ・プラス基金への協力



ロータリー財団委員会 吾妻 学 委員長

ロータリー財団は、「世界でよいことをしよう」という目的をもって、1917年に基金として創設以来、ロータリアンの皆さまの熱意あふれるご支援と活動のおかげで、たゆみなく発展を続け、2017年で記念すべき100年の歴史を刻む年になります。

2013年7月1日より、ロータリー財団は新しい補助金10年計画で未来の夢計画を立てました。2530地区でもアーチC・クランクの夢を継承して引き続き「ポリオ撲滅」「ロータリー奨学生」「VTT研修」などのロータリー財団の活用した奉仕活動の推進とさらなる自発的な寄付の推進に会員のみならず皆さまのご理解とご協力を願っております。



社会奉仕委員会 佐藤 朋也 委員長

本年度も地域社会が本当に必要としているプロジェクトであり、クラブ会員全員の協力が得られる6つのプロジェクトを選定しました。

当委員会では、6つのプロジェクトに沿って会員のみならずが社会奉仕活動を実践するにあたり、ナビゲートさせていただくことになりますのでよろしくお祈りします。

奉仕するものは行動しなければなりません。従って、ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければなりません。そして、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければなりません。(社会奉仕に関する1923年の声明 第4項)



新会員入会式 新会員 菅野 孝之さん 会社名 株式会社 MAX